

各分野における主な提案品目及び検討方針等について（案）

1. 各分野における主な提案品目について（資料 4－2 別紙参照）

特定調達品目に係る新規の提案品目や既存品目の判断の基準等の見直しに関する提案募集を実施（6 月 2 日から 6 月 27 日の約 1 ヶ月間）したところ、資料 4－1 に示したとおり、物品 31 品目、役務 3 品目、公共工事 11 品目¹の計 45 品目の提案があった。

2. 提案品目及び提案内容に係る検討方針等

各品目の提案内容及び留意点等を踏まえた物品・役務の現段階における検討方針等は、以下のとおりである。

なお、今後、必要に応じて提案者に対する追加資料の提出依頼、ヒアリングの実施等を行い、提案品目の環境負荷低減効果、供給状況等を調査・確認し、新規の追加・判断の基準等の見直しについて検討するものとする。

（1）紙類

① コピー用紙及び印刷用紙

- 総合評価指標において基本項目である「その他持続可能性を目指した原料の調達方針に基づいて使用するパルプ」の重み付けを森林認証パルプ、間伐材パルプと同一にすべき
 - ➔ 昨年度設置した「古紙の定義等に係る専門委員会」において紙類の総合評価値の算定に係る指標項目、重み付けについて検討を行い、竹パルプについては間伐材等パルプとして位置づけたところ。なお、他の指標項目及び重み付けについては現時点において変更する特段の事情の変化はないとの結論

② コピー用紙、フォーム用紙、インクジェットカラープリンター用塗工紙、塗工されていない印刷用紙、塗工されている印刷用紙（衛生用紙以外のバージンパルプが使用される可能性のある紙類）

- バージンパルプを使用している場合は、森林のみならず土地に関する法令の遵守についても、判断の基準に追加すべき

¹ 他にロングリスト掲載品目への追加提案 20 品目

- 間伐材、再生資源²から製造されたバージンパルプについて、その原料が間伐材、再生資源であることを証明するとともに、当該原料の伐採（収穫）方法に関する合法性の確認を判断の基準とすべき

➔ 土地に関する法令遵守の確認、間伐材又は再生資源から製造されたバージンパルプの原料に係る証明等の実現可能性を踏まえ検討

③ ストーンシート

- 化石燃料由来の樹脂含有量を削減した印刷用合成紙
 - ➔ 塗工された印刷用紙等用途を勘案した品目を比較対象とした場合の環境負荷低減効果、国等の機関における調達実績、市場への供給状況等の確認が必要

（２）OA 機器

① コピー機等

- 使用済み機器の回収及びリサイクルのシステムが構築されており、回収後に一定割合以上再資源化され、単純埋立されないこと（インクジェット方式を除く）を配慮事項とすべき
 - ➔ 省資源、資源循環、廃棄物削減等の観点から、回収・リサイクルシステムの構築等に係る検討を実施

② プリンタ等、スキャナ

- 特定の化学物質の使用制限を判断の基準に追加すべき
 - ➔ 電気・電子機器への特定の化学物質の使用制限は、廃棄時の直接的な排出源として、また、国際的な潮流からも重要であり、検討を実施

③ カートリッジ等

- 現行の配慮事項である「各種システムの構築及び再資源化率等に係る判断の基準を満たすことを示す証明書等を備えていること」を判断の基準に格上げすべき
 - ➔ 特定調達物品等の信頼性確保の観点から検討

（３）照明

① CCFL 照明器具

- CCFL ランプ、専用灯具
 - ➔ 省エネルギー、長期使用等の環境負荷低減効果（現行品目の蛍光灯、LED との比較）の確認とともに、JIS 等の規格が策定されていないことから性能、品質面の確認方法等に係る検討が必要

² 合板・製材工場から発生する端材、林地残材・小径木等

② 直管蛍光ランプ（40 形）

- 管径 38mm の蛍光ランプ
 - ➔ JIS 規格外の管径であり、一般用としての流通はほとんどない状況であることを昨年度確認済み

（４）制服・作業服

- 堆肥中で分解処理可能なポリエステル繊維からなる制服・作業服
 - ➔ 市場への供給体制、環境負荷低減効果、回収・分解システム等の確認が必要

（５）インテリア・寝装寝具

- 遮熱スラット塗装を施した金属製ブラインド
 - ➔ 環境負荷低減効果等の確認が必要

（６）その他繊維製品

- 竹繊維・竹炭を使用した消臭・吸湿パッド（被り物用裏天井）
 - ➔ 環境負荷低減効果、市場への供給状況、国等の機関における調達実績及び調達可能性等の確認が必要

（７）設備

① 太陽熱利用システム

- 現行の判断の基準において指標としている「集熱率」を「集熱量」に変更するとともに、特定調達物品等の確認に当たっての JIS 規格の活用
 - ➔ システムの集熱性能を、より適切に示す指標及び JIS の活用について検討

② エアコン用パネル

- 非空調ゾーンを天井部につくることによる省エネルギー型パネル
 - ➔ 環境負荷低減効果、国等の機関における調達実績及び調達可能性等の確認が必要

（８）災害備蓄用品

- 現行の缶詰・レトルト食品等の賞味期限に係る判断の基準を 5 年から 3 年に変更すべき
 - ➔ 平成 24 年度特定調達品目検討会において、国等の機関において価格面を含め調達に支障がない限り、現行の判断の基準で問題ないとの結論

（９）役務

① 印刷

- 板紙へのリサイクル促進の観点から B ランクの紙（抄色紙、ファンシーペーパー、グラシンペーパー、インディアペーパー）も印刷物の材料として使用可とすべき
 - ➔ 「古紙リサイクル適性ランクリスト」の検討状況を踏まえ、印刷の判断の基準等への適切な反映を図る

② 食堂、庁舎管理（清掃）

- 原料として廃油又は動植物油脂を使用している場合、廃油の最低配合率を設定するとともに、廃油以外の原料については合法性の確認をすべき
 - ➔ 廃油の最低配合率を設定した場合の市場における供給状況の確認、他の原料に係る合法性の確認の実現可能性の検討が必要

各分野における主な提案品目（物品・役務）

分 野	主な提案品目等	見直し・新規追加	提案の内容（判断の基準の考え方等）	検討に当たっての留意点等
紙 類	コピー用紙、印刷用紙	見直し	その他持続性を目指した原料の調達方針に基づいて使用するパルプの重み付けの見直し（森林認証材パルプ、間伐材パルプと同等とする）等	古紙等の定義に係る専門委員会において検討を実施 現時点において変更する特段の事情の変化はないとの結論
	コピー用紙、フォーム用紙、インクジェットカラープリンター用塗工紙、塗工されていない印刷用紙、塗工されている印刷用紙	見直し	バージンパルプを使用している場合は森林のみならず土地に関する法令の遵守。間伐材、合板・製材工場から発生する端材、林地残材・小径木等の再生資材由来の原料について、間伐材、再生資源等であることの証明及び伐採（収穫）方法の合法性、持続可能性への確認	法令遵守に係る確認方法、バージンパルプの原料に係る証明方法等の確認及びその実現可能性について検討
	ストーン シート（国産品）	新規追加	CO2排出量を抑制した環境調和型印刷用合成紙	環境負荷低減効果、供給状況、国等の機関における調達可能性の確認
OA 機 器	コピー機等（インクジェット方式を除く）	見直し	使用済み機器の回収及び再資源化が実施され、単純埋立てされないコピー機等	省資源、資源循環、廃棄物削減等の観点から回収・リサイクルシステムの構築について検討
	プリンタ等	見直し	特定の化学物質の使用の制限	廃棄時の負荷低減、国際的な基準の設定状況等を踏まえ検討
	スキャナ	見直し	特定の化学物質の使用の制限	廃棄時の負荷低減、国際的な基準の設定状況等を踏まえ検討
	カートリッジ等	見直し	配慮事項②の「各種システムの構築及び再資源化率等に係る証明書等の保有	特定調達物品等の信頼性確保の観点から検討
照 明	CCFLランプ及び専用灯具	新規追加	CCFLを光源とした、省電力及び長寿命の省エネ型蛍光灯、電球、非常灯、イルミネーション（看板灯）等のランプ全般、およびその直流変換用電源を内蔵する器具全般	省エネ、長期使用等の環境負荷低減効果の確認、JIS等の規格が策定されていないことから性能面、品質面の確認方法等の検討が必要
	直管蛍光ランプ（40形）	見直し	直管型（管径38mm）の蛍光ランプ	JIS規格外の管径であり、一般用ではほとんど流通していない

分野	主な提案品目等	見直し・新規追加	提案の内容（判断の基準の考え方等）	検討に当たっての留意点等
繊維製品	制服・作業服	見直し	堆肥中で分解処理可能なポリエステル繊維を使用した制服・作業服	供給体制、環境負荷低減効果、回収・分解システム等の確認
インテリア・寝装寝具	金属製ブラインド	新規追加	太陽からの日射を高反射するスラット(羽根)を使用し、日射反射率を向上させた遮熱ブラインド	環境負荷低減効果等の確認
その他繊維製品（裏天井）	被り物用消臭抗菌吸湿具 びっ汗クールヘッドパット	新規追加	原料として竹繊維・竹炭の使用による廃棄物の削減	環境負荷低減効果、供給状況、国等の機関における調達可能性等の確認
設備	太陽熱利用システム（公共・産業用）	見直し	集熱量に係る判断の基準の変更及びJIS規格適合品が判断の基準を満たす旨の記載の追加	システム集熱性能を適切に示す指標について確認
	天井埋込カセット形エアコン用パネル	新規追加	エアコンからの吹出し気流の風向を調整するパネル	環境負荷低減効果、国等の機関にける調達可能性等の確認
災害備蓄用品	缶詰、レトルト食品等	見直し	賞味期限の見直し	平成24年度の検討会において、特段の支障がない限り、現行の基準で問題ないとの結論
役務	印刷	見直し	古紙リサイクル適性ランクBランクの紙も認めるとともに、ランクリストの見直し	古紙リサイクル適性ランクリストの見直しを適切に反映
	食堂：廃食油又は合法性が確認された原料を使用した洗剤	見直し	原料として使用される廃油の最低配合率。廃油以外の原料については、調達方針による持続可能性の確認	供給状況、合法性の確認方法及びその実現可能性の確認
	清掃：廃食油又は合法性が確認された原料を使用した洗剤	見直し	原料として使用される廃油の最低配合率。廃油以外の原料については、調達方針による持続可能性の確認	供給状況、合法性の確認方法及びその実現可能性の確認

各分野における主な提案等（公共工事）

新規提案品目

分野	提案品目（個別品目名）	判断の基準の考え方
資材	省エネルギー型空調用機器	省エネルギー
	副産物を用いたコンクリート	リサイクル
	合法木材を利用した合板型枠【3】	（品目提案ではない）
	合法木材を利用した製材等【2】	（品目提案ではない）
	再生材料を用いた紙製塗料入れ	（品目提案ではない）
	有害物質を含有しない常温合材	有害化学物質
工法	有害化学物質の無害化処理工法	有害化学物質
	有害物質が飛散しない塗膜剥離工法	有害化学物質

ロングリスト掲載品目

分野	提案品目（統合品目名）	判断の基準の考え方
資材	高炉スラグ微粉末を用いたプレキャストコンクリート製品【1】	リサイクル
	再生骨材Lを用いたコンクリート 【1】	リサイクル
	再生骨材Mを用いたコンクリート製品 【1】	リサイクル
	コンクリート用再生骨材H 【1】	リサイクル
	天然繊維を用いたドレーン材 【1】	リサイクル
	ペーパースラッジを用いた土質改良材 【1】	リサイクル
	再生セメント【1】	リサイクル
	再生セメントを用いたモルタル【1】	リサイクル
	再生プラスチックを利用した建材【1】	リサイクル
	石炭灰を用いた地盤材料【1】	リサイクル
	再生骨材Mを用いたコンクリート 【2】	リサイクル
	断熱材【1】	リサイクル
	合法木材を利用した合板型枠【1】	（品目提案ではない）
	ガラス用光触媒クリア塗料【1】	省エネルギー
	廃木材を骨材として利用したコンクリート製遮音壁【1】	リサイクル
工法	省資源型表面処理工法 【1】	省エネルギー
目的物	遮熱性舗装 【1】	ヒートアイランド抑制
	保水性舗装 【2】	ヒートアイランド抑制

※【】内は個別提案品目数